



# 自己紹介&コロナによる変化



**諏訪 博彦**, 特任准教授／研究員

ユビキタスコンピューティングシステム研究室／観光情報解析チーム

奈良先端科学技術大学院大学／理化学研究所 (AIP)



山中教授も以前勤務していた大学  
国立大学  
大学院生しかいない  
世界最先端の研究することが使命

約3km

奈良先端科学技術大学院大学  
4.6 ★★★★★ (82)  
大学院

グリーンホール田原

Google

ここにを入力して検索

11:55  
2020/10/03

- Web・センサデバイス・ネットワークの連携により，実世界データを効率よく収集・分析・応用し，先進的なサービスの実現を目指す。

## 収集した情報の分析

情報抽出，嗜好分析，コンテキスト推定，未来予測...

## 情報の収集

クローリング，センシング，クラウドソーシング...

## 分析結果の応用

情報推薦，意思決定・行動支援，行動変容，社会効率化...

## Cyber / Physical



インターネット



家



人間活動



都市



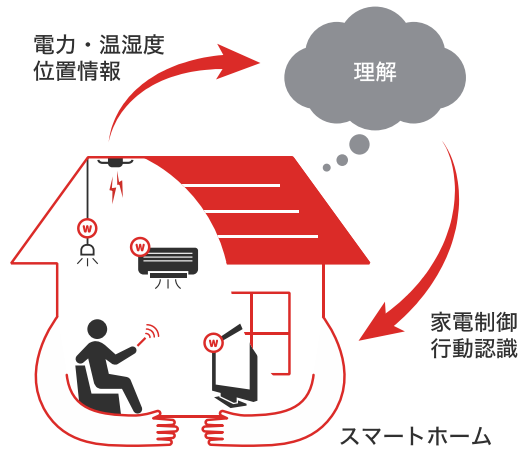
環境

# 研究テーマ



- ホーム：行動認識，コンシェルジュ，デイケアセンタ
- ライフ：QoL推定，スマートスポーツ，ウォーキング支援
- シティ：参加型センシング，観光支援，災害時通信，行動変容

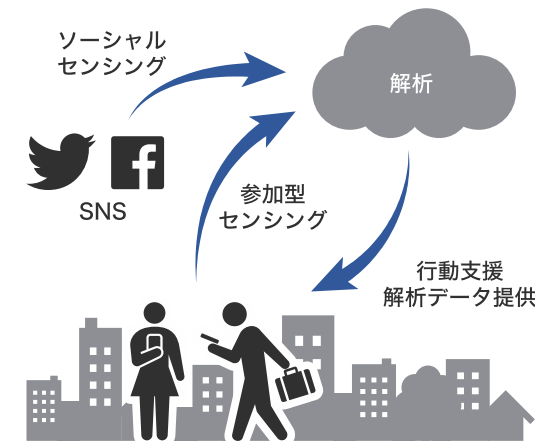
## スマートホーム Smart Home



## スマートライフ Smart Life



## スマートシティ Smart City

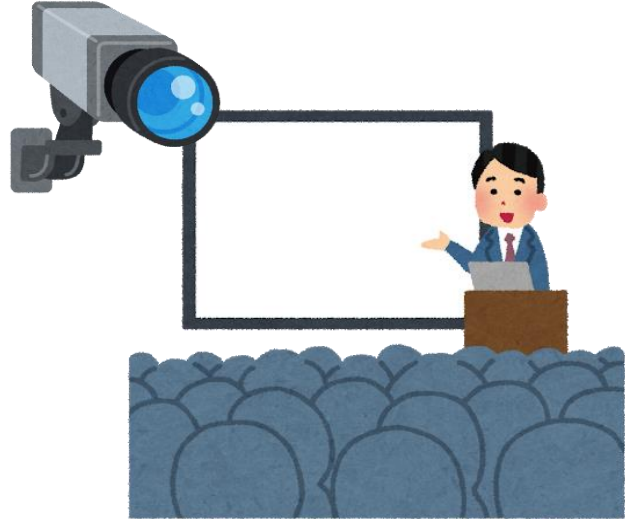




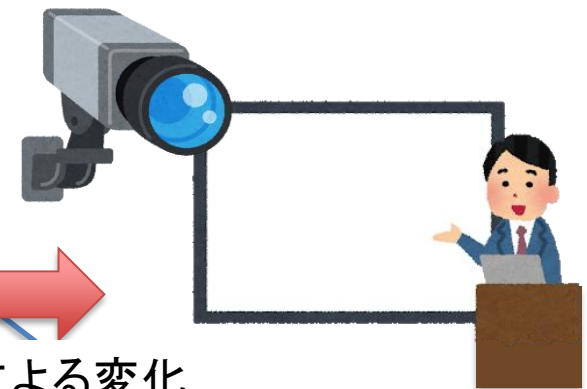
コロナで何が変わったか？

授業/オープンキャンパス/入試/その他

# 授業アーカイブシステム



コロナによる変化

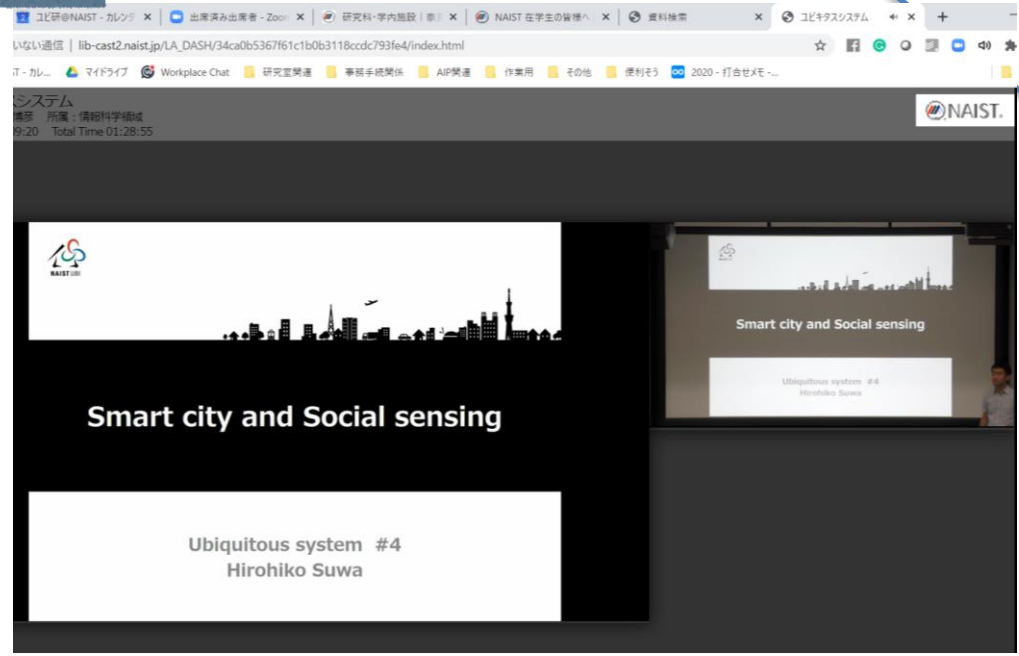


無受講者講義

対面  
+  
eラーニング



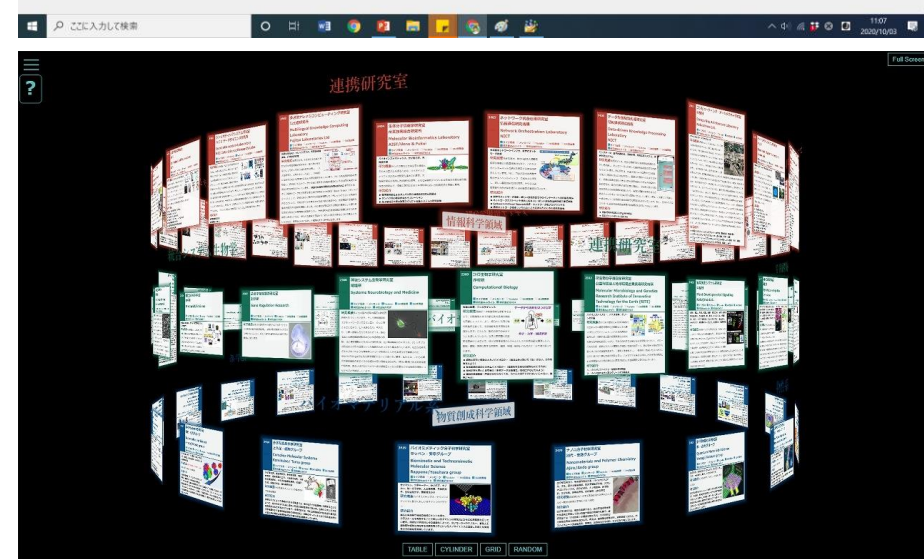
eラーニング



# バーチャルオープンキャンパス



- 5月に完全バーチャルで開催
  - <https://opencampus2020.naist.jp>
- 3Dで大学を再現
- 360度動画配信
- オンライン受験相談





- 従来から面接入試を実施
  - 数学：ホワイトボードに回答
  - 面接：研究内容についてプレゼン・質疑応答
- 教員は大学の面接用教室（複数）に集合
- 受験生はPCやスマホで受験
  - 数学は紙に書いて回答
  - 試験開始前に，周囲をカメラで確認
- 替え玉受験や機器トラブルへの対応は依然課題





- 出張がなくなった
  - 20回（2019年4～9月） ⇒ 0回（2020年4～9月）
- 国際会議が参加しやすくなった／つらくなった
  - オンライン開催なのでどの会議も参加できるようになった
  - 現地時間で開催されるため睡眠時間が削られた
- 研究への影響
  - 対面の実験ができなくなった
  - コロナ関係の研究テーマが増えた
- 学生とのコミュニケーション
  - 在校生とはオンラインミーティングでほぼ対応可能
  - 4月入学生とのコミュニケーションには課題が残っている
    - 目的のない会話が発生しづらい
- 留学生の受け入れ・派遣ができなくなった

# 行動変容を促す取り組み



- 行動変容・ナッジ・仕掛け学

- 人々が自発的に特定の行動を選択するよう促す仕掛けや手法

- COCOAアプリインストール促進
- 人の行動を認識して反応する消毒促進システム



- ゲーミフィケーション

- ゲームの考え方やデザイン・メカニクスの要素を、社会的な活動やサービスに利用すること

- 混雑を避けるポイントが増えるゲーム
- 各地域の混雑度を伝え合う参加型センシング



都市免疫力の向上

# DEMO

